

就業システムのパイオニアとして培った技術力
急変する労働環境を追い風に急成長——日通システム

人材マネジメントシステムの先駆者

日通システム株式会社の主力商品『勤次郎 Enterprise』は、就業・人事・給与の機能をベースに、企業経営の効率化を支援するHRM (Human Resource Management) ソリューション。全国4,000社を超えるユーザー企業の厚い信頼を得てきたシステム開発にけるスピリッツを聞いた。



日通システム株式会社
専務取締役
統括本部長
窪島 政良氏

現在の労働市場では、働く意識や働き方の多様化により、人材の流動化や時間労働者の増加がますます進んでいる。特に最近では、団塊の世代の大量退職や少子高齢化、さらに女性や外国人、パート・アルバイトの労働者が増加するなど、雇用形態がより複雑化。その急激な変貌は、企業経営にも大きな影響を与えている。

「時間管理労働者の採用による、労働力の確保が出来る反面、複雑化する人材管理業務の負担増というデメリットもあります。当社は、その負担を使いやすいシステムによって軽減しながら、企業にとって不可欠な人材の確保やその労働力の適正配置による生産性の向上、企業経営の効率化を支援しています」(窪島政良氏)

『勤次郎 Enterprise』は、全面Web運用が可能な「就業・人事・給与」の統合データベースをコアとして、業務の合理化・スピード化を図り、的確な人員配置、生産性向上データの出力など、戦略的な人材マネジメントをサポートする統合ERPソリューションだ。その開発

には、就業・勤怠管理システムのパイオニアである日通システムが、全国4,000社を超える導入実績を通して培ってきた経験とノウハウが結集されている。

「お客様のニーズに耳を傾け、時代の要請に敏感かつ柔軟に対応してきた技術力が当社の特長」と窪島氏。常に時代をリードし、ニーズを先取りして実現してきた"ものづくり"の姿勢が、エンドユーザーや販売パートナーからの高い評価につながっている。

労働環境の変化へのいち早い対応が強味


日通システムのシステム開発の歴史を振り返ると、それはまさに企業の人材管理へのニーズと、労働環境の変化への対応の積み重ねだったといえる。1981年の設立以来、出退勤管理・給与計算システムの開発・販売に取り組んできた同社では、就労者の時間管理を可能にした就業システムの開発にいち早く着手。さらに人事管理業務の負荷軽減という企業のニーズをとらえ、多くの導入実績を積み重ねてきた。

「さらに現在では、労働者の労働時間問題に留まらず、心身両面の問題に関する行政の指導や法整備が進み、企業は対応を迫られています。それらの変化に素早く対応できることも、当社の大きな強味です」(窪島氏)

生産性分析から戦略的人材マネジメントに

日通システムが次に目指すのは、人材管理システムを、より戦略的に活用し、企業経営の効率化に寄与するものへとパワーアップしていくこと。

「各企業には独自の文化・方法論があり、すべてを標準化して提供することは難しい。しかし蓄積された人材・労務情報データベースを活用し、統計・分析やシミュレーションを、エンドユーザーでも、簡単に使い、マネジメントレベルを向上するためのツールは提供していきます」(窪島氏)

企業の人材マネジメントレベルで、人材・労務情報を自在に活用できる新たな付加価値を持つソリューションの提供へ。日通システムの挑戦は続いている。 

お問い合わせ

想像から創造へ



Nittsu System Co., Ltd.

日通システム株式会社

〒460-0026

名古屋市中区伊勢山2-11-33 NITTOビル5階

TEL.052-332-1031 FAX.052-332-1034

<http://www.nittsusystem.co.jp>